



きずな

全道フットサル選手権2019

(U-12)

札幌地区予選 決勝

全道大会進出おめでとう！！

札幌大谷地 クラブフィールズU-12
One Eighth SSS 札幌サッカースクール
AGGRE U-12 A

1月20日(日)、新陵東小学校体育館において、札幌地区代表を目指して熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は8分・3分・8分のプレーイングタイムで行われ、各ブロック優勝の上記5チームが札幌地区代表として2月16日(土)・17日(日)釧路市(湿原の風アリーナ釧路)で開催される全道大会に進みました。

1月20日(日) Aブロック

札幌大谷地	北海道コンサドーレ札幌 U-12 B	
3	2-0 1-1	1

立ち上がりからしっかりとボールを動かし、攻撃の形を探るコンサドーレ札幌B。ピヴォの選手を活かしながらゴールに迫る。

一方、札幌大谷地は、わずかなシュートコースも見逃さずに積極的にシュートをねらっていく。互いに決定機を作りシュートするという展開が続くが、両ゴールキーパーのファインセーブが続き、じっと我慢の時間が流れる。

前半3分過ぎあたりから、キーパーの前にロング

ボールを入れワンタッチでゴールをねらう大谷地だが、コンサBのゴールキーパー1番の好守が光る。コンサBは、大谷地の下がり目の守備のブロックを崩そうとテンポを上げてボールを動かすが、こちらも大谷地の堅い守備にはばまれる。

前半7分、大谷地9番が7番からのクロスパスを見事な右足のボレーでネットに突き刺し、大谷地が先制した。コンサBはすぐさまタイムアウトを取って立て直しを図ったが、ゲーム再開直後の大谷地7番のシュートをゴールキーパーがこぼし9番が詰めて追加点を奪い、大谷地が2点リードで前半を終える。

後半、立ち上がりから積極的にゴールをねらいに行くコンサBだが、大谷地も集中を切らさずゴール前を固めてコンサBの猛攻をしのぐ。そして、後半7分、大谷地10番はカウンターからゴールキーパーと1対1になり冷静にゴール。3点差となる。

コンサBはすぐさまコーナーキックから6番が合わせて1点を返したが、残り時間はわずか。ついに終了の笛が鳴り、札幌大谷地が全道大会へと駒を進めた。



1月20日(日) Bブロック

クラブフィールズ U-12	西野第二	
5	2-1 3-0	1



西野第二のキックオフで試合開始。序盤はお互い絶好のチャンスを掴むも、シュートは枠を捉えることができず、均衡した展開が続く。

試合が動いたのは2分。西野第二が、カウンターから3対1の数的有利から見事なパス回しでゴールキーパーを揺さぶって最後に10番がガラ空きのゴールにシュートを決め、先制する。

それでも焦ることなく落ち着いた試合運びを進めるクラブフィールズは前半3分30秒、27番が左足で放った豪快なミドルシュートをゴール右に突き刺し、すぐさま同点に追いつく。そのわずか20秒後には、コーナーキックのチャンスから今度は30番がゴール左隅に決め、逆転に成功。このまま、2対1で前半は終了する。

後半2分、勢いのついたクラブフィールズは、28番からパスを受けた27番がキーパーの動きをよく見て重心が動いた瞬間を狙い、技ありのゴール。3分30秒には、ゴールクリアランスを自陣ゴール前で受けた28番が二人三人とドリブルで一気に抜き去り4点目のゴール、個人技を見せた。

後がない西野第二は、高い位置でプレスをかけ積極的に攻めるが、クラブフィールズの固いディフェンスに阻まれシュートまで結びつけることができず、苦しい展開が続く。

そして、6分40秒、クラブフィールズのキックインがノーマークのゴールキーパーに渡り、ハーフウェイラインから右足で放った強烈なロングシュートが相手DFの足に当たりコースが変わってゴールイン。ダメ押しの5点目を決める。

点差が開いても一矢報いようと西野第二は必死に攻めるが、そのまま試合終了のホイッスル。5対1でクラブフィールズが札幌代表の座を手に入れた。

1月20日(日) Cブロック		
北園・美香保 ユナイテッド	One Eight FC	
3	3-1 0-5	6

Cブロック決勝は、予定時刻どおりの12時15分、北園・美香保のキックオフで開始された。

One Eightは、ピヴォの4番を相手ゴール前に配置して攻勢をかけたが、北園・美香保の6番がしっかりとマークし、ボールを奪って前線の8番につなぎシュートをねらうといった展開で始まった。

前半2分、北園・美香保5番は、相手ゴールキーパーのオーバースローから得た間接フリーキックを低い弾道でキック。ゴール前の8番が頭でそらせてゴールイン。先制点を奪った。

One Eight2番は、キックインからの短いパスからダイレクトシュートでゴールをたびたびねらうが、得点にはつながらない。

前半4分、北園・美香保5番がコーナーキックを受けダイレクトシュートで決め、追加点を奪った。

しかし、One Eight2番は4番のシュートがはじかれたボールを強烈なシュートで決め、1点差につめよった。

前半6分、北園・美香保8番が巧みなドリブルからシュートを決めて、3対1で前半終了。

後半は、One Eightのセットプレーからの猛攻が続いた。1分すぎには、2番がコーナーキックからのパスをダイレクトシュートで連続2得点。3分には、フリーキックをつないでの得点。そして、キックインをショートパスでもらってトゥキックで決め、瞬く間に連続4点を奪った。

北園・美香保は、サイドにつないでからの攻撃を再三試みるが引き気味に守るOne Eightにはばまれ、追加得点することができず、One Eightが全道大会へ進出することが決まった。



1月20日(日) Dブロック		
幌北北九条	SSS 札幌サッカースクール	
0	0-2 0-6	8

前半、SSS札幌のキックオフで試合開始。SSSは、開始早々、攻撃を仕掛けて立て続けにシュートを打つも、幌北北九条のゴールキーパーがセーブする。

後方でパスを回しながら相手守備を崩し攻撃を仕掛けるSSSに対し、幌北北九条はボールを奪えば前線に素早くパスを送るという展開になる。開始3分、SSS10番が左サイドでボールを受けるとDFの股抜きシュート、ゴールキーパーも反応が遅れ先制点を奪う。その後もSSSがボールを保持し何度もシュートまでもって行く。幌北北九条はゴールキーパーを中心に粘り強く守っていたが、7分13秒、右サイドでボールを受けたSSS4番のシュートが決まり、2点目。前半は、このままSSS札幌リードで終了。

後半開始。幌北北九条は左サイドで10番が抜け出しシュートするも、SSSゴールキーパーが好セーブ。逆にSSSは、後半55秒、味方のシュートを相手ゴールキーパーがはじいたところを3番がつめて、3点目を決める。

後がない幌北北九条は、カウンターから反撃を狙うも、SSSの守備への切り替えは早くなかなかシュートをする事ができなかった。攻撃の手を緩めないSSS札幌は、その後も得点を奪って8対0とし、全道大会出場を決めた。



1月20日(日) Eブロック		
AGGRE U-12 A	アプリーレ札幌	
3	3-1 0-0	1

スタートから、球際のあたりが強いハイプレッシャーの中でゲームが進む展開になった。ショートパスとロングパスを織り交ぜ、ゴールに力強く迫る両チーム。一瞬の油断も許さない緊迫の時間が続き、決勝戦らしい好ゲームの立ち上がりであった。

前半3分、コーナーキックからのパスをアプリーレ9番がニアポストに飛び込んでネットを揺らし、先制点を取る。しかし、4分、AGGRE3番のシュートのこぼれ球をAGGRE9番が素早く詰めて同点に追いつく。この後はAGGREのセットプレーが続くも、ゴールキーパーを中心に体を張って守るアプリーレ。そんな中で前半6分、AGGRE9番が個人技で相手を揺さぶり見事にシュートを突き刺し、2対1とする。前半終了間際、AGGRE9番がゴール前で反転シュートし、追加点、2点差で、前半終了。

後半は、立ち上がりからAGGREの時間が続き、アプリーレは我慢の展開。アプリーレは、流れを変えべく前線から厳しくプレッシャーをかけるも、決定機をなかなか作ることができず、時間の針のみが進む。

両チーム激しいプレーの連続の中でもファールが少なく、好ゲームが続く。最後まで勝負をあきらめずゴールに迫ったアプリーレだったが、ゴールをこじ開けられず、終了のホイッスル。

全道大会最後の代表権は、AGGRE U-12 A が勝ち取る結果となった。



全道大会の結果は道協会のHPをご覧ください。